札幌社保協



2006年6月20日(火) 社保協事務局 発行 Tal 823-0867 Fax 821-3701 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp http://www.sapporo-syahokyo.jp/ 06年度 国保料 介護保険料

なんでこんなに高いの!? 国保科 - 区役所へ問い合わせが殺到!

国保料の納付通知書が届き始めた15日頃から、区役所へは「なぜこんなに高いのか」という問い合わせや苦情の電話が殺到しています。各区役所の代表電話もつながらず、国保年金課の前には相談を待っている人がたくさんいますー厚別では100人、西区では80人。区役所には駐車場に入れない車が並んでいる所もあります。

西区社保協では先週から相談案内ビラを配布したので、さっそく電話や、ビラを持って西区守る会事務所へ相談に来る人が続いています。区役所へ行き2時間待たされて、「こんなに高くては払えない」と相談したら、「去年まで払っていたのだから払ってください」とだけ言われた、と怒って相談に来た方もいました。

国保世帯の4割以上が負担増!

-国保・介護110番運動の再構築と飛躍を-

札幌社保協、国保・介護110番連絡会は9日、国保料の算定方式変更による国保料引き上げ通知の送付を前に、学習決起集会を開催し、区社保協や関係団体などから約50人が参加しました。

説明に立った三浦道生連会長は、今回の改定で国保世帯(35.5万)の約44%(15万6千世帯)が負担増となり、そのうち7割の世帯(10万5千)が1.3倍以上の負担になることを示しました。国保改悪の歴史と110番運動の意義を確認し、支払い困難者が増えていくと予想され、納付相談・減免・分割納付など、相談と支払い運動を強化しようと訴えました。

斉藤社保協次長は、ポスター・ビラなどでの110番の案内宣伝や、各区で特別体制をとって相談会を開こうと提起しました。

西区社保協では、独自に加入団体が相談先に名前をそろえた110番ビラも作成し、7万枚の地域全戸の配布を始めることを報告しました。また、南区社保協でも、6/30に常駐相談者を置き、相談先の案内も入れた独自ビラを3500枚用意して配布することになりました。

住んで良かったと思えるまちづくりを



6月9日、西区社保協は西区役所と年金・医療・国保・生活保護など6項目に渡って申し入れと交渉を行いました。本間徹夫会長ほか、勤医協西区病院・西区守る会・年金者組合・新婦人・西民商などから12人が参加し、区側からは保健福

祉部・税務部の担当者らが出席しました。

国保料の低所得者対策については「実情をよく聞き、支払方法 など相談したい」、生活保護については「状態を聞いて、申請を 希望する方に申請書を渡し、手続きの援助をしたい」などの回答 がありました。



国保・介護110番・相談ビラを送りました!

20日に完成し、区社保協や加入団体へ送付を始めました。各団体新聞への折込みや、地域への配布に使ってください。

厚別区守る会は9500枚を使い、もみじ台団地へ 全戸配布する計画です。

赤旗日曜版6/25付けにも折込を頼みました。

札幌社保協2006年度総会

6月22日(木)

18:30~20:30

菊水ビル 4階